



修学旅行記 第1日目

待ちに待った修学旅行がスタートしました。まずは母島、沖港で出発式。新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小しての実施でしたが、見送りでは、多くの島民の方が温かい声援で送り出してくれました。



母島から父島へは、ははしま丸に乗り2時間。定刻通りに父島に到着し、おがさわら丸へ乗り換えます。

父島から竹芝旅客ターミナル（東京）までは、おがさわら丸で24時間。長い長い船での移動時間が、内地への期待や憧憬を高めてくれます。

10泊11日の長旅では、気を緩めず、自分自身で体調管理をしながら、たくさんのことを内地で学んでいきましょう。そして、母島のみんなに旅の成果を報告してくれるのを楽しみにしています。

真夏のような気候となった修学旅行出発の日。修学旅行中は、小笠原の輝く太陽と海とはしばらくお別れです。

おがさわら丸出港に際して見送りの様子→

